

# 聖書の紀行文

## パウロのマルタ島上陸

高田 友

現代中國語聖書を漢文の如くに訓讀せり

凡例 策「法子」としたるは日本語にては「策」なれど、中國語原文は「法子」。

知〈道〉としたるは中國語にては「知道」なれど、「知」のみにて解するを得。

括弧を附して(者)としたるは原文になき文字を補ひたるなり。

中ほどに「我們」とあるは、筆者ルカおよびパウロ並びに乗組員一同を指す。

天亮けぬれども、水主はその地を認識らず、ただ、一の海灣を見る。而して且つ沙灘有り。就ち船を擱せて上り去かんがために策「法子」を講「想」ぜんと決す。他們先づ纜索を砍斷し、錨を以「把」て海の裏に投げおとす。同時に船頭の帆を拉起起し、風に讓せ舟を岸に向ひて推しすすめんとす。但是、船の砂洲攔淺に衝き到りたるに因りて、船頭は膠のごとくに(岸に)つきてはなるるなし。轉た動かすこと能はず、船尾は大浪に猛力衝撃せられ、破損して不堪。

兵士、囚犯を以「把」て都く殺さんと想へるは、潜水逃脫する(者)有るを避免けんがためなり。但是軍官は保羅を救はんと欲「要」し、他們的妄動するを准さず、於是、會く遊泳するの人に下令して、先づ水に跳び下りて去き、遊泳して岸に上らしむ。其餘の人は木板および船の上なる斷木を利用して岸に上る。這様、大家都く、救はるるを獲て岸に上る。

我們救はるるを獲て後に纜くその島の馬耳他と叫ばるるを知〈道〉る。島上なる居民は我們に對して很だ友善たり。當時、雨下り、天氣又冷なるに因りて、他們就ち火を生して、我們を接待す。保羅一把の柴を撿め來りて、火中に放つ。一條の毒蛇熱に住へず、鑽りて出で來り、彼「他」の手に纏はり住く。島上の人、彼「那」の蛇の保羅の手の上に懸るを看見て、彼此に説ふ。「這の人、一定是殺人犯なり。海の裏より救はれ來ると雖も、天理還た彼「他」の活くるを容さず」と。可是保羅は彼「那」の蛇を以「把」て火の裏に抖ひおとし、自己は絲毫も傷害を受くること没し。大家彼「他」の手の腫れ來たるを、或は突然仆れて死去するを看るを待「等」つ。可是待「等」つこと好久しくして、彼「他」に何「甚麼」らの異様有るを見出すをえず、就ち念頭を改(變)めて説ふ。「彼「他」は是神明なり」と。

(令和二年五月十五日受附)